

	00 .. 01	00 .. 05	00 .. 12	00 .. 18	00 .. 23	00 .. 35	00 .. 45	01 .. 00	01 .. 07	01 .. 14	01 .. 21	
#	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
ナレーション	「田中さん、2か月の育休をとるんだって」	これを聞いたときあなたは長いと感じますか？短いと感じますか？	短いと感じた方は、田中さんは女性だと思い込んでいませんか？	そこにはアンコンシャス・バイアスが潜んでいるかもしれません。	アンコンシャス・バイアスは無意識の偏見。 それ自体に良しあしはなく、誰もが持っているものです。	「2視点<R>研修」を開発しています。 Zコトデータではアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すため、	この研修は東京大学の研究に基づいており、複数視点での疑似体験を行い、その体験についてグループでディスカッションをすることで相互理解を促進します。	今回の2視点<R>研修では、異なる2つの立場を疑似体験します。	ひとつは、育児中のメンバーを持つリーダーの立場で展開されるオフイスシーン。	もうひとつは育児中のメンバーの立場で展開される家庭でのシーン。	両方の当事者視点で疑似体験をすることで相手の立場に対して理解が深まり、互いに尊重したコミュニケーションが可能になります。	

	03 .. 07	02 .. 59	02 .. 52	02 .. 40	02 .. 27	02 .. 19		02 .. 02		01 .. 45	01 .. 35
	20	19	18	17	16	15		14		13	12
	ナレーション										
	<p>実際に東京大学の研究結果では、約84%の人に心理的距離が縮まる効果が確認されています。</p> <p>ワークショップに参加した、子育て経験のある管理職からは『思い込みで動かずメンバーの声に耳を傾け、家庭やプライベートに配慮しながら仕事の相談をするようになった。』という声がありました。</p> <p>また、出産予定の家族がいるメンバーからは『研修をきっ かけに妻とお互いの働き方や育休について話し合うことで、上司や同僚に育休取得の協力をしてもらえました。』という声もあがっています。</p> <p>あなた自身、周囲のアンコンシヤス・バイアスによって生きづらさを感じてはいないでしょうか。</p> <p><R体験がコミュニケーションの改善やウェルビーイングの促進へとつながり、多様性を認め合う共生社会の実現に貢献できると考えています。</p> <p>コーディネータはこれからも社会課題の解決を通じ、豊かで調和の取れた社会の実現を目指してまいります。</p> <p>あなたは、このナレーションを読み上げている私をどんな人物だといメージしますか？</p> <p>声から想像したイメージにも無意識の偏見が潜んでいるかもしれません。</p> <p>アンコンシヤス・バイアスの存在に気付くことが、誰もが生き生きと活動するための第一歩になるのではないのでしょうか。</p>										